

# 東通村防災センター



青森県東通村

# ごあいさつ



東通村長  
**越 善 靖 夫**

東通村は、昭和40年、村議会において、原子力発電所の誘致を決議し、以来、一貫して原子力発電所との共生による村の発展を目指して参りました。

当村にとって最初の原子力発電所となる東北電力㈱1号機の営業運転開始が平成17年に予定されていたことから、原子力災害から一般災害までを包括した当村の防災体制の中核となる当センターを整備しております。

当センターは、原子力災害時の現地応急対策の中核となる「緊急事態応急対策等拠点施設」に指定されており、当センター内に開署された東通消防署及び常設の災害対策本部室と併せ、より迅速で円滑な防災活動を実施できる体制が整いました。

また、平成23年3月の福島第一原子力発電所事故の発生を踏まえ、当センターに対し、放射線防護対策や非常用発電機の稼働期間の延長などを追加実施し、原子力防災体制のより一層の充実強化を図っております。

今後も、村民の皆様が安心して暮らせる生活環境の実現に努めるとともに、民生安定のため、諸施策を展開してまいりますので、益々のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。





## 施設の概要

- 位 置 青森県下北郡東通村大字砂子又字沢内5番地35
- 敷地面積 約10,134㎡
- 建築面積 約3,321㎡
- 延床面積 約5,994㎡（うち消防署等 約2,951㎡ オフサイトセンター 約3,043㎡）
- 構 造 鉄筋コンクリート造2階建（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）

### ○主な室等

#### ・オフサイトセンターエリア

原子力災害対策合同協議会・機能班エリア、プラントチーム、機能班責任者会議室、運営支援班室、除染室、防災専門官室、国現地災害対策本部長室、県現地災害対策本部長室、仮眠室、食堂、会議室、前室、中室、後室、防護服着衣履替室、換気設備機械室、発電機室等

#### ・消防署エリア

事務室、通信室、署長・団長室、車庫、仮眠室、食堂、トレーニング室等

#### ・村災害対策エリア

村災害対策本部長室、村災害対策本部室、会議室、防護服着衣・備蓄室、エアロック室、フィルター・ファンルーム、エアロック室等

### ○主な設備等

#### ・オフサイトセンター用設備等

フィルタ付き換気設備（目標室内外差圧：75Pa、2系統）

出入管理（エアロック室・除染室等）

汚水一時貯留槽

非常用発電機（500kVA、灯油、地下タンク2基（約7日間分：計43,000ℓ））

無停電電源装置（75kVA）

高圧電源車用受電受口（1カ所）

#### ・東通村災害対策本部等用設備等

フィルタ付き換気設備（目標室内外差圧：75Pa、2系統）

出入管理（エアロック室等）

非常用発電機（340kVA、灯油、地下タンク1基（約7日間分：15,000ℓ））

### ○主な沿革

平成16年	7月	建設工事完成
	8月	東通原子力保安検査官事務所開所（現東通原子力規制事務所）
	10月	外構工事完成 緊急事態応急対策等拠点施設指定
17年	4月	東通消防署開署
	12月	東北電力(株)東通原子力発電所1号機試運転開始
23年	3月	東京電力(株)福島第一原子力発電所事故発生
26年	3月	簡易移動式夜間照明機器整備（臨時ヘリポート用）
27年	3月	改修工事（東通オフサイトセンター放射線防護対策）完成
28年	3月	改修工事（非常用発電機稼働期間延長）完成 臨時ヘリポート拡充工事完成
	令和元年	8月

# 東通消防署エリア



仮眠室



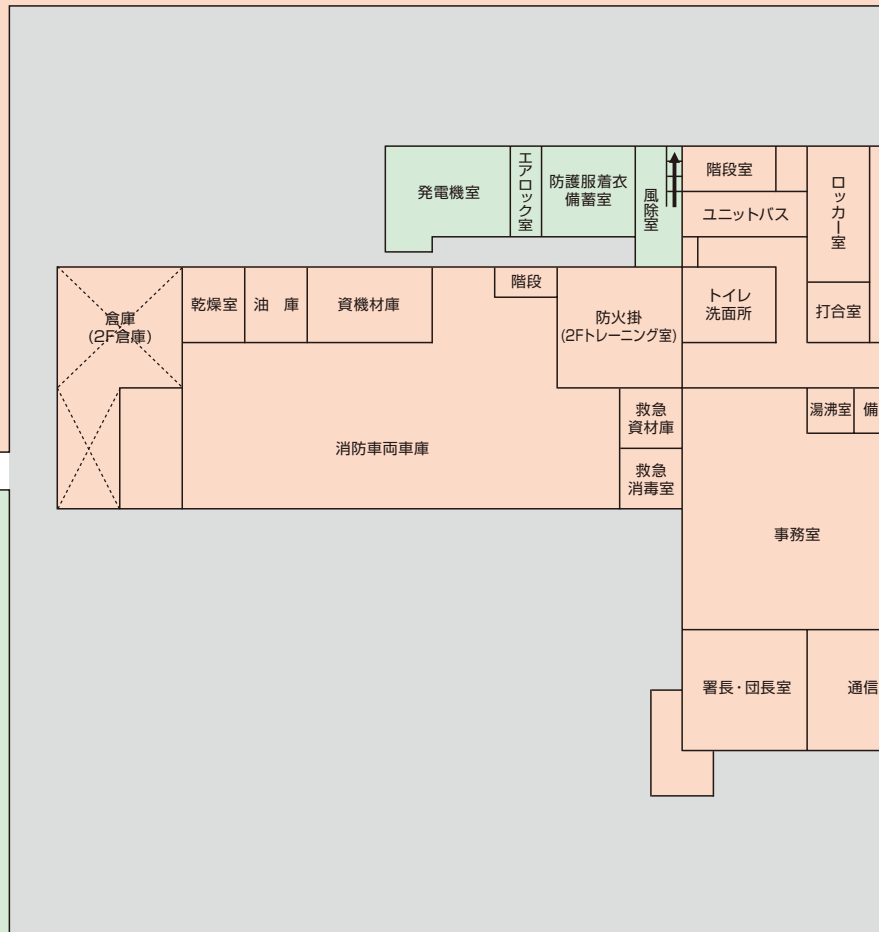
通信室



事務室



消防車両車庫



# 村災害対策エリア



発電機室(340KVA)



エアロック室



防護服着衣・備蓄室



災害対策本





# オフサイトセンターエリア



プラントチーム



機能班責任者会議室



全体会議工



国現地災害対策本部長室

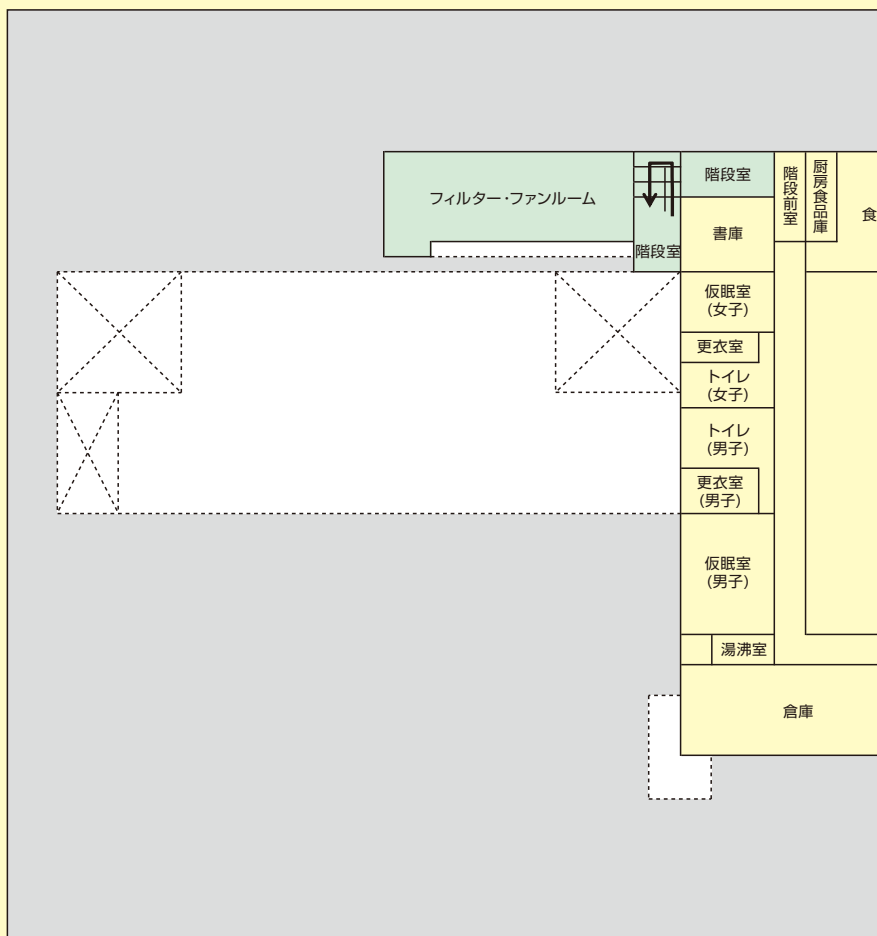


県現地災害対策本部長室



会議室1

会議室2



仮眠室



換気設備機

# 2F

オフサイトセンター、国の東通原子力規制事務所などが設置されています。

## 東通原子力規制事務所

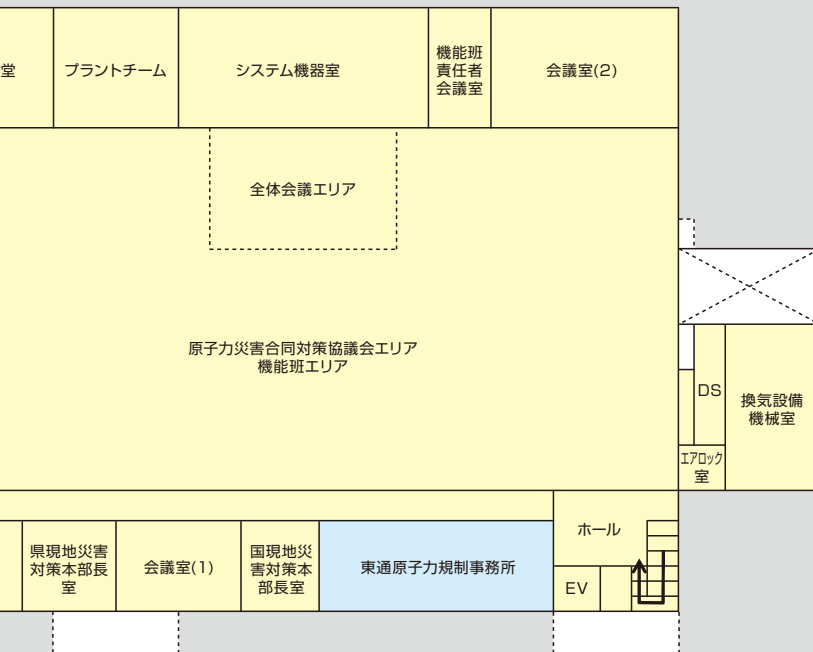


リア

## 村災害対策エリア



フィルター・ファンルーム



械室



原子力災害合同対策協議会・機能班エリア



# 原子力防災体制のしくみ

原子力災害が発生したときは、住民への安全確保、原子力事業者による応急対策、事故の把握と状況、住民等への医療措置、避難住民等への支援等、様々な応急対策が必要となります。

また、国、県、市町村、原子力事業者、防災関係機関及び専門家等が協力してその対応に当たる必要があります。このため、国、県、市町村、原子力事業者、防災関係機関及び専門家等の関係者が一堂に会して、情報を共有するとともに、応急対策を調整する原子力災害合同対策協議会が組織されます。

## 原子力災害合同対策協議会の概念図

### 原子力災害合同対策協議会

全体会議：関係者の情報共有、相互協力のために調整  
(議事をオフサイトセンター内の関係者に公開)

- ・ オフサイトセンター内の情報共有
- ・ 各機関が実施する緊急事態応急対策の確認
- ・ 緊急事態応急対策に係る関係機関の業務の調整
- ・ 緊急事態応急対策に係る対応方針の決定事項の各機関への連絡
- ・ 各機能班からの緊急事態応急対策の実施状況の確認
- ・ 緊急事態応急対策実施区域の拡張、縮小、緊急事態解除宣言等について原災本部への提言

### 機能グループ

#### 総括班

- ・ オフサイトセンターの運営管理
- ・ 協議会運営
- ・ 機能班間連絡・調整
- ・ ERCチーム総括班、道府県及び市町村災害対策本部等との連絡・調整

#### 広報班

- ・ 報道機関への対応
- ・ ERCチーム総括班、道府県及び市町村災害対策本部等との情報共有
- ・ 住民からの問い合わせへの対応

#### 運営支援班

- ・ オフサイトセンターの環境整備
- ・ 各種通信回線の確保
- ・ 参集者の食料等の確保

#### 医療班

- ・ 安定ヨウ素剤、避難退域時検査、原子力災害医療に係る情報収集
- ・ ERCチーム医療班等との連絡・調整

#### 放射線班

- ・ 緊急時モニタリング結果等の合同対策協議会資料の作成
- ・ 除染等に関する企画立案

#### プラントチーム

- ・ 事故情報の把握及び進展予測
- ・ プラントの状況に関する情報提供

#### 実動対処班

- ・ 実動省庁又は官邸チーム実動対処班及びERCチーム実動対処班等との連絡・調整

#### 住民安全班

- ・ 避難指示、区域設定・管理に係る調整
- ・ 住民避難状況に係る情報収集
- ・ 輸送に係る調整

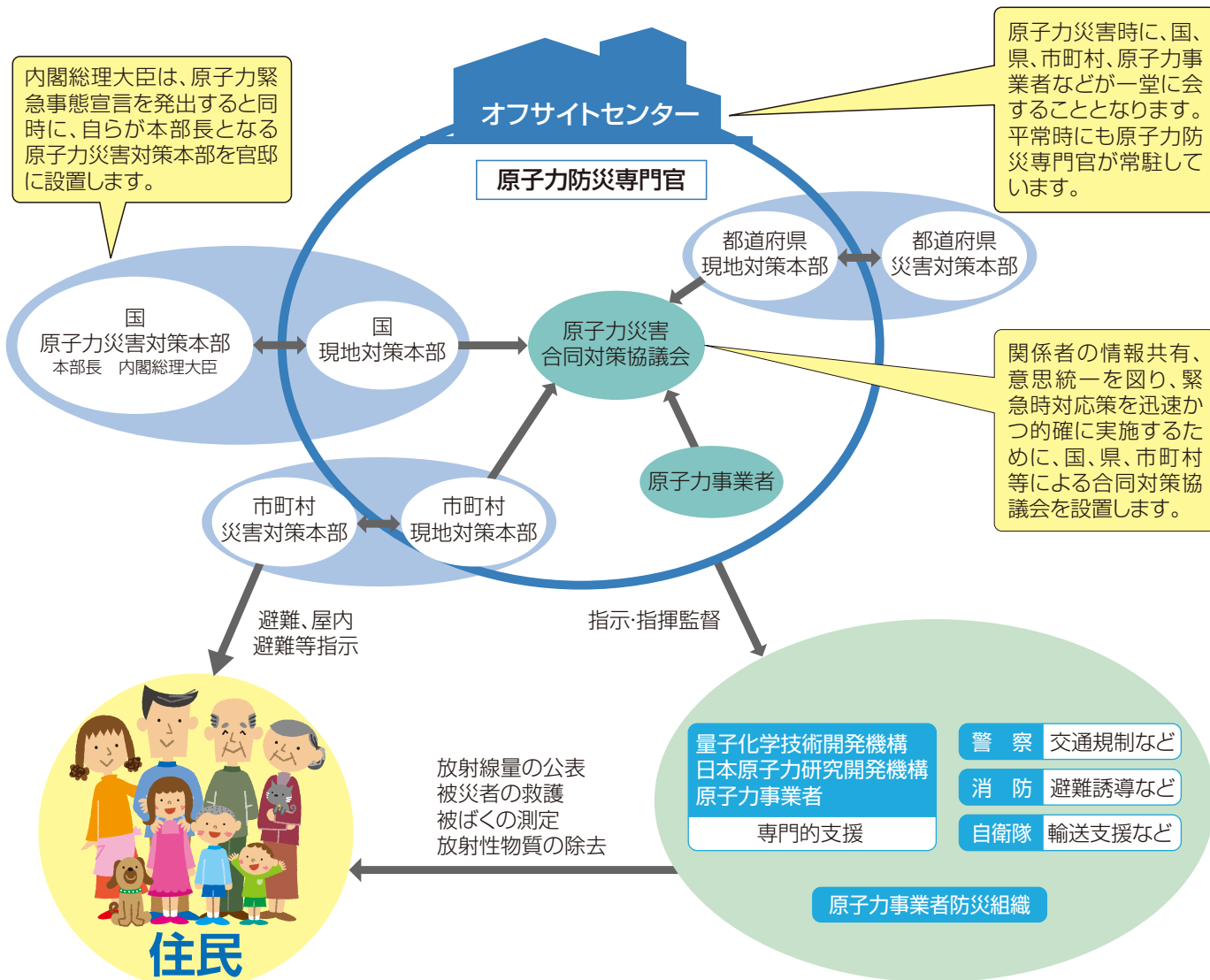


この原子力災害合同対策協議会が設置される施設がオフサイトセンターであり、情報共有化のためのTV会議システムや電話・FAX等の通信機器等、必要な機器が整備されています。

また、情報の収集や応急対策の調整等を行うため、防災関係機関の職員が派遣され、機能別に分けた、総括班、広報班、プラントチーム、放射線班、医療班、住民安全班、運営支援班、実動対処班が設置されるとともに各防災関係機関の現地災害対策本部等も設置されます。

## 原子力緊急時の防災体制

[万が一緊急事態が発生したら、国、自治体、事業者及び関係機関は一体となってその対策にあたります。]



# 付帯施設

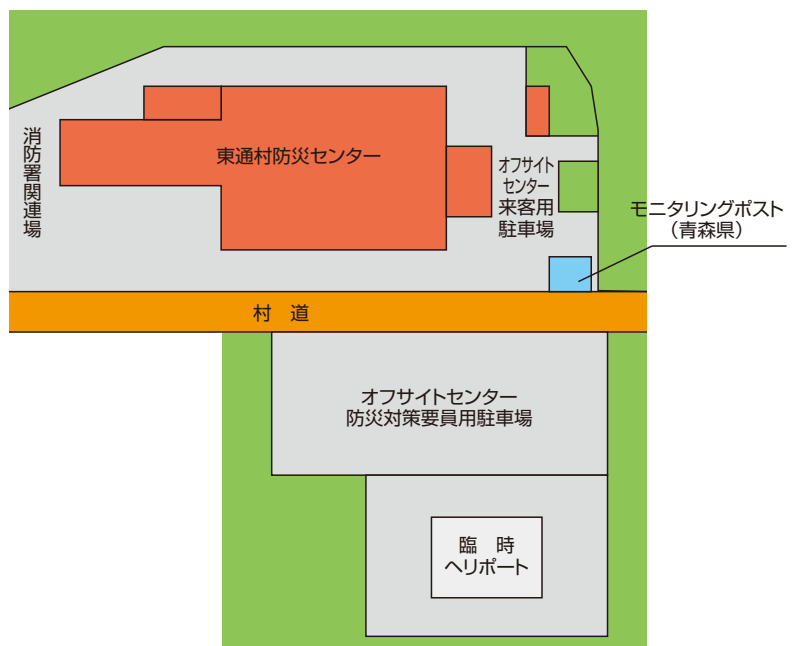


防災対策要員用駐車場



臨時ヘリポート

防災対策要員が参集するための駐車場や臨時のヘリポート等が整備されています。



境界灯



簡易移動式夜間照明機器



夜間離着陸訓練



# 施設周辺図



## 東通村までの所要時間 (車)

- 青森市から約2時間40分
- むつ市から約25分
- 八戸市から約2時間30分
- 弘前市から約3時間30分

## 交通機関の運行状況

- 下北交通 (バス)  
むつターミナル～泊行き



## 東通村防災センター

〒039-4222

青森県下北郡東通村大字砂子又字沢内5番地35

発行者 東通村原子力対策課

〒039-4292

青森県下北郡東通村大字砂子又字沢内5番地34

TEL 0175-27-2111 FAX 0175-27-2501

